



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月7日

東

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,208	△6.8	83	△70.7	96	△70.1	55	△73.1
2023年3月期第3四半期	10,957	△7.0	285	△60.4	324	△55.5	206	△57.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 63百万円 (△67.2%) 2023年3月期第3四半期 193百万円 (△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	11 42	—
2023年3月期第3四半期	42 40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,840	7,418	44.1
2023年3月期	16,438	7,452	45.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,418百万円 2023年3月期 7,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
2024年3月期	—	10 00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△2.7	160	3.2	150	△20.5	100	△10.5	20 54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	5,155,600株	2023年3月期	5,155,600株
2024年3月期3Q	288,193株	2023年3月期	288,193株
2024年3月期3Q	4,867,407株	2023年3月期3Q	4,870,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、為替相場の円安基調、原材料価格やエネルギー価格の高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは2021年度～2023年度を計画期間とする中期経営計画において、2023年度の経営方針を「原点経営の推進」とし、事業の中核であるオリジナル商品を磨き上げることにより、通信販売・店舗販売・卸販売各事業を通して、お客様に「驚き」「楽しさ」「満足感」を提供すべく事業展開を推し進めてまいりました。しかしながら、中核事業である通信販売事業の売上高が前年同期を下回った結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、102億8百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は83百万円(前年同期比70.7%減)、経常利益は96百万円(前年同期比70.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は55百万円(前年同期比73.1%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では春夏シーズンに続き、秋冬シーズンに超低価格の「ビットローファー」、「新・JOG軽」、「ルームシューズ」のほか衣料関連商品等多くの販売促進商品ならびに、靴を主体に新商品を約300点投入いたしました。販売促進面では、TV e r 動画広告・テレビCM・インフルエンサーによるPR投稿のほか、2か月に亘る靴まつりキャンペーン、期間限定セールの実施等により受注件数の増加に努めてまいりました。しかしながら、販売促進商品が全体の受注を牽引するに至らなかったほか、円安による輸入価格上昇のため価格改定を行ったことや、物価高により実質賃金が低下する中、消費者の節約志向の高まりに加え商品の価値を魅力的かつ効果的に表現することが十分にできなかったことも影響し、受注件数が前年同期を下回りました。この結果、売上高は51億89百万円(前年同期比14.3%減)となりました。利益面は、売上総利益率は前年同期を上回り、販管費の削減を図りましたが、減収の影響が大きくセグメント利益は3億35百万円(前年同期比39.7%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行による人流の回復ならびに2022年11月にオープンした岩岡本店および2023年8月にオープンした姫路店の「おかし館」効果もあり、来店客数・購入単価・買上点数ともに堅調に推移しました。部門別では、靴部門は総合店に加え靴専門店2か店の新店オープンも寄与し、オリジナル商品を主体に前年同期を上回りました。また、食品部門は「おかし館」効果がお菓子以外のカテゴリーへも波及し前年同期を上回りました。この結果、売上高は48億58百万円(前年同期比3.6%増)となりました。利益面は、靴専門店出店による人件費の増加を主因とした販管費の増加を増収によりカバーし、セグメント利益は55百万円(前年同期比52.5%増)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、新規取引先およびスポット販売先の受注は堅調に推移した一方、主力取引先への販売が前年同期を下回った結果、売上高は1億61百万円(前年同期比24.1%減)となりました。利益面は、売上総利益率が改善したものの減収の影響により、セグメント損失は5百万円(前年同期は損失12百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億19百万円増加し、112億92百万円となりました。これは、現金及び預金が17億52百万円増加し、商品が7億77百万円、売掛金が3億74百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少し、55億47百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加し、168億40百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加し、37億40百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が89百万円、買掛金が64百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、56億81百万円となりました。これは、長期借入金が2億81百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億35百万円増加し、94億21百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、74億18百万円となりました。これは、利益剰余金が41百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント低下し、44.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ8億52百万円増加し、34億81百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、15億41百万円(前年同期は3億83百万円の使用)となりました。これは主に、棚卸資産の減少額7億68百万円、売上債権の減少額3億75百万円、減価償却費2億23百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、9億31百万円(前年同期は85百万円の獲得)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出14億円、定期預金の払戻による収入5億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2億39百万円(前年同期は1億2百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出16億28百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2023年11月8日の決算短信にて発表しました2024年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において2024年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,728,799	7,481,160
売掛金	938,670	564,222
商品	3,790,762	3,013,454
未着商品	53,851	63,109
貯蔵品	13,214	13,163
その他	255,930	163,459
貸倒引当金	△7,925	△5,918
流動資産合計	10,773,304	11,292,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,036,783	1,932,785
土地	3,098,931	3,098,931
その他（純額）	157,832	165,771
有形固定資産合計	5,293,547	5,197,488
無形固定資産	100,718	77,687
投資その他の資産	271,396	272,667
固定資産合計	5,665,662	5,547,843
資産合計	16,438,967	16,840,494
負債の部		
流動負債		
買掛金	708,950	773,757
1年内返済予定の長期借入金	1,943,116	2,032,635
未払法人税等	12,379	6,736
賞与引当金	111,985	64,722
役員賞与引当金	-	5,625
契約負債	19,463	18,653
その他	816,968	838,447
流動負債合計	3,612,863	3,740,576
固定負債		
長期借入金	5,049,956	5,331,606
退職給付に係る負債	189,356	196,575
資産除去債務	35,711	50,871
その他	98,452	102,021
固定負債合計	5,373,476	5,681,075
負債合計	8,986,339	9,421,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,947,044	5,905,268
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	7,391,853	7,350,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,753	22,139
繰延ヘッジ損益	36,688	35,140
為替換算調整勘定	14,332	11,485
その他の包括利益累計額合計	60,774	68,765
純資産合計	7,452,627	7,418,842
負債純資産合計	16,438,967	16,840,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	10,957,040	10,208,804
売上原価	5,847,255	5,500,672
売上総利益	5,109,785	4,708,131
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,284,491	1,236,966
貸倒引当金繰入額	7,141	3,549
給料手当及び賞与	1,398,416	1,393,014
賞与引当金繰入額	70,120	64,722
その他	2,063,864	1,926,194
販売費及び一般管理費合計	4,824,033	4,624,447
営業利益	285,751	83,683
営業外収益		
受取利息	5,591	4,557
受取配当金	2,389	2,436
為替差益	16,076	-
受取補償金	16,253	12,575
受取手数料	10,093	9,415
その他	10,691	11,219
営業外収益合計	61,095	40,204
営業外費用		
支払利息	20,851	21,707
為替差損	-	5,048
その他	1,686	227
営業外費用合計	22,538	26,983
経常利益	324,309	96,904
税金等調整前四半期純利益	324,309	96,904
法人税、住民税及び事業税	96,372	26,281
法人税等調整額	21,410	15,051
法人税等合計	117,782	41,333
四半期純利益	206,526	55,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	206,526	55,571

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	206,526	55,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,139	12,386
繰延ヘッジ損益	△20,640	△1,547
為替換算調整勘定	△4,236	△2,847
その他の包括利益合計	△12,737	7,991
四半期包括利益	193,788	63,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,788	63,562
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	324,309	96,904
減価償却費	211,173	223,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	608	△2,006
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47,176	△47,263
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,000	5,625
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,374	7,219
受取利息及び受取配当金	△7,980	△6,993
支払利息	20,851	21,707
為替差損益 (△は益)	7,676	△228
売上債権の増減額 (△は増加)	227,836	375,517
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△836,622	768,101
仕入債務の増減額 (△は減少)	168,612	59,762
契約負債の増減額 (△は減少)	△343	△810
その他	△298,003	69,284
小計	△218,685	1,570,620
利息及び配当金の受取額	8,313	7,184
利息の支払額	△20,823	△21,917
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△152,000	△14,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	△383,196	1,541,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,800,000	△1,400,000
定期預金の払戻による収入	3,000,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△86,631	△27,807
有形固定資産の売却による収入	27	63
無形固定資産の取得による支出	△26,780	-
投資有価証券の取得による支出	△501	△400
その他	△1,068	△3,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	85,045	△931,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,900,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,666,175	△1,628,831
自己株式の取得による支出	△1,716	-
配当金の支払額	△97,507	△97,410
その他	△32,046	△34,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,555	239,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,266	2,637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△200,861	852,361
現金及び現金同等物の期首残高	3,056,660	2,628,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,855,798	3,481,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,055,052	4,689,744	212,243	10,957,040	—	10,957,040
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,055,052	4,689,744	212,243	10,957,040	—	10,957,040
セグメント利益又は損失(△)	556,010	36,267	△12,454	579,823	△294,071	285,751

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△294,071千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃28,189千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第3四半期連結結果計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,189,443	4,858,301	161,059	10,208,804	—	10,208,804
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,189,443	4,858,301	161,059	10,208,804	—	10,208,804
セグメント利益又は損失(△)	335,505	55,301	△5,746	385,060	△301,376	83,683

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△301,376千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃28,264千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。